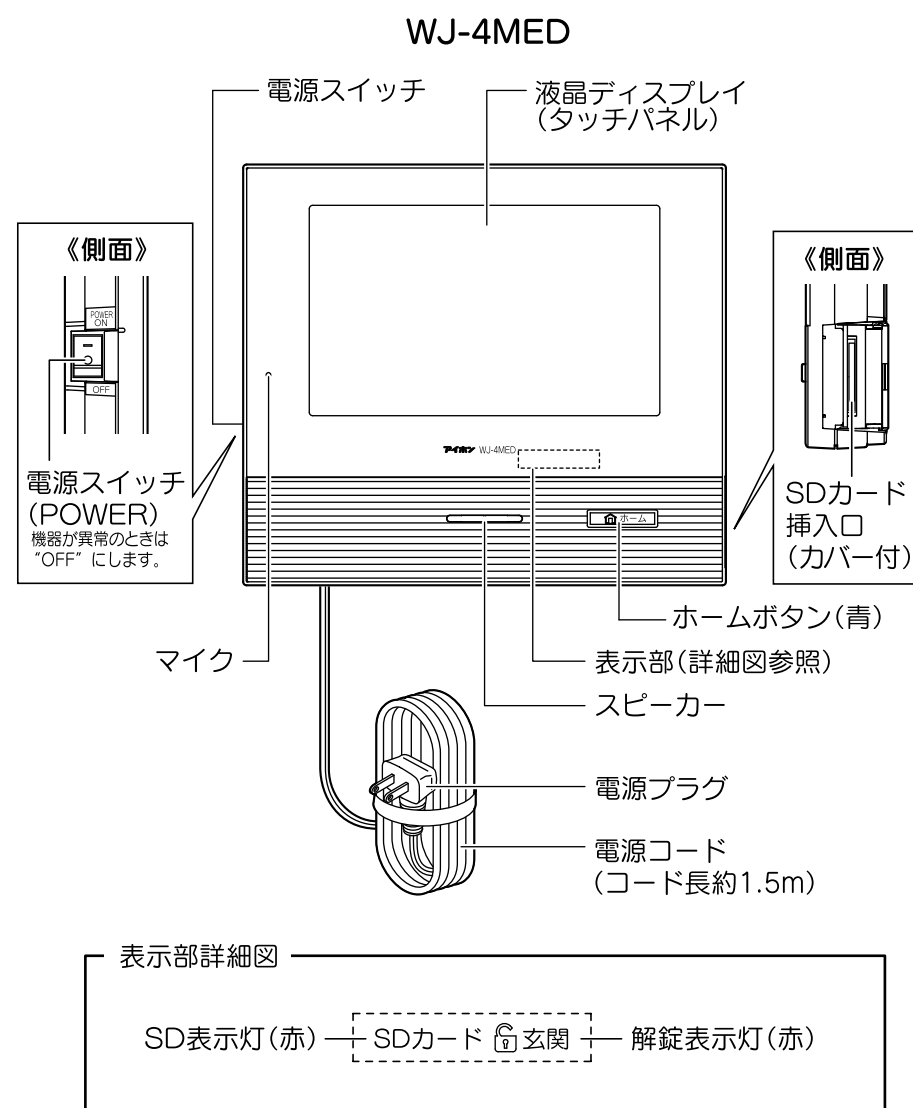


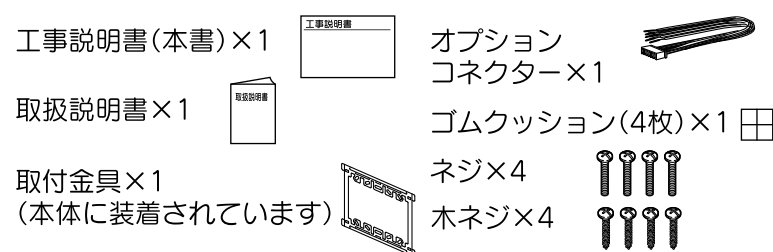
**ご注意**

- !** KG-88の場合、WJ-DA、WJ-4WDに関しては各機器の取扱説明書を参照してください。



付 属 部 品 … 確 認 し て く だ さ い。

- WJ-4MED



取扱説明書の「施工設定一覧」に施工設定内容を記入してください。

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ❌ 交流100V以外の電源電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。
  - ❌ 本体は絶対にあけない。  
機器内部には、電圧がかかっている部分があり、感電の原因となります。
  - ❌ 機器を分解・改造しない。  
火災、感電の原因となります。
  - ❗ 電源プラグは根元まで差し込む。  
差し込みが不完全だと、火災、感電の原因となります。
  - ❗ チャイム線など既設の配線を使用する時は、AC100Vが通電されていないことを確認する。  
機器の破損および感電の原因となりますので、電気店・電気工事店などの専門の方に依頼してください。

- ⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 

電源を入れた状態で取付・接続をしない。  
感電、故障の原因となることがあります。



電源を入れる前に、誤配線、ショート  
などが無いことを確認する。  
火災、感電の原因となることがあります。



機器本体は肩などの身体が容易に触れ  
ない場所に設置する。  
けがの原因となることがあります。



弱電線を窓などで挟まない。  
故障の原因となることがあります。



振動、衝撃の多い場所に置かない。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因と  
なることがあります。



タッチパネルはボールペンや金属など  
鋭利な物での入力是不行ない。  
タッチパネルが破損し、パネル内の液晶が漏  
れる恐れがあります。液晶が目や口に入っ  
たときは、ただちに水で洗い落としてください。



次の場所での設置および使用しない。  
火災、感電、故障の原因となることがあります。

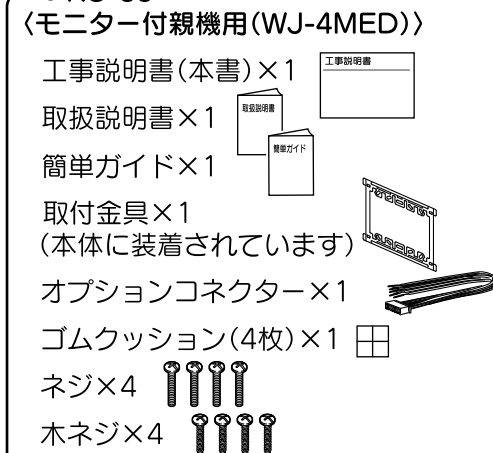
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・温度が上昇するところ  
暖房機器、ボイラなどの近く
  - ・液体などのかかる恐れのあるところ  
鉄粉、ほこり、油、薬品、硫化水素  
(温泉地) など
  - ・湿度の高いところ  
浴室、地下室、温室など
  - ・温度が低いところ  
冷凍倉庫内、クーラーの正面など
  - ・直接湯気や油煙のあたるところ  
熱器具や調理台のそばなど
  - ・ノイズの発生するところ  
調光器、インバータの電気製品など
  - ・電波の干渉を受けるところ  
テレビ、電子レンジ、パソコン、エアコ  
ン、デジタルコードレス電話機などの電  
気製品や、給湯器用リモコン（インター  
ホン機能付き）、ホームセキュリティ関  
連装置の近くなど

- お願い**

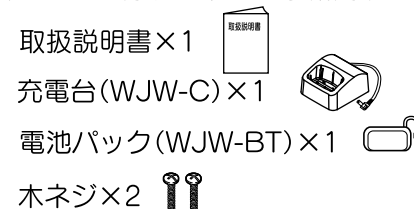
  - ラジオ、テレビは当製品から3m以上離してご使用ください。
  - 本機は、1.9GHzの周波数帯の電波を利用しています。詳しくは取扱説明書の「電波について」をよくお読みのうえ、設置してください。

- ## お知らせ
- 放送局などのアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。
  - 電源電圧などが日本国内仕様になっています。国外では使用できません。
  - 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られており、一部に黒点欠けや常時点灯するものもありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - 強電界地域では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。
  - 屋内専用です。屋外では使用できません。

● KG-88



〈モニター付ワイヤレス子機用(WJ-4WD)〉

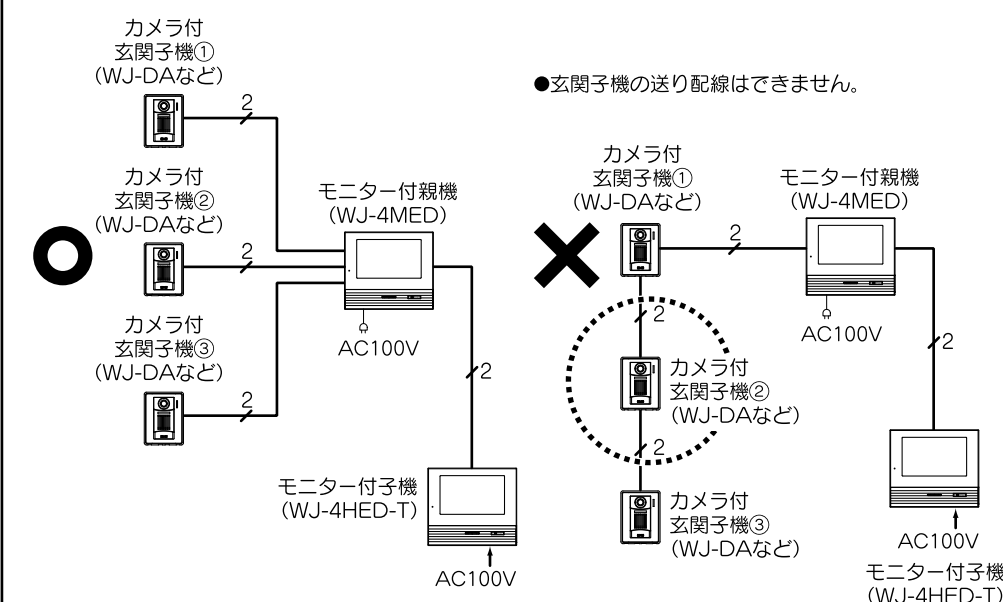


〈カメラ付玄関子機用(WJ-DA)〉



## △配線上のご注意

- 弱電線はポリエチレン絶縁ビニール被覆のケーブルを使用してください。  
(例：OP〔沖電線〕 FA〔富士電線〕 AE〔伸興電線〕 CA〔中央電線〕など)
  - 同軸ケーブルは使用できません。
  - 2PrカッドVうち線は使用できません。
- 3芯など奇数のケーブルは使用できません。
- インターホン系のケーブルと電気錠系のケーブルは別ケーブルとし、それぞれ10cm以上離して配線してください。  
(玄関子機からの呼び出しができなくなります。)
- 弱電線は強電線(AC100V、200V)とは30cm以上離して配線してください。  
ノイズや誤動作の発生の原因となることがあります。  
既設の配線を利用する場合は、その線の種類によっては正常に動作しないことがあります。そのときは配線の入れ替えが必要となります。
- 全ての機器間の接続は個別配線としてください。(映像が乱れるなど正常に動作しなくなる恐れがあります。)

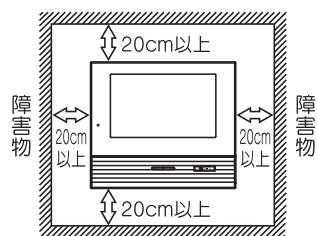


## 取付方法

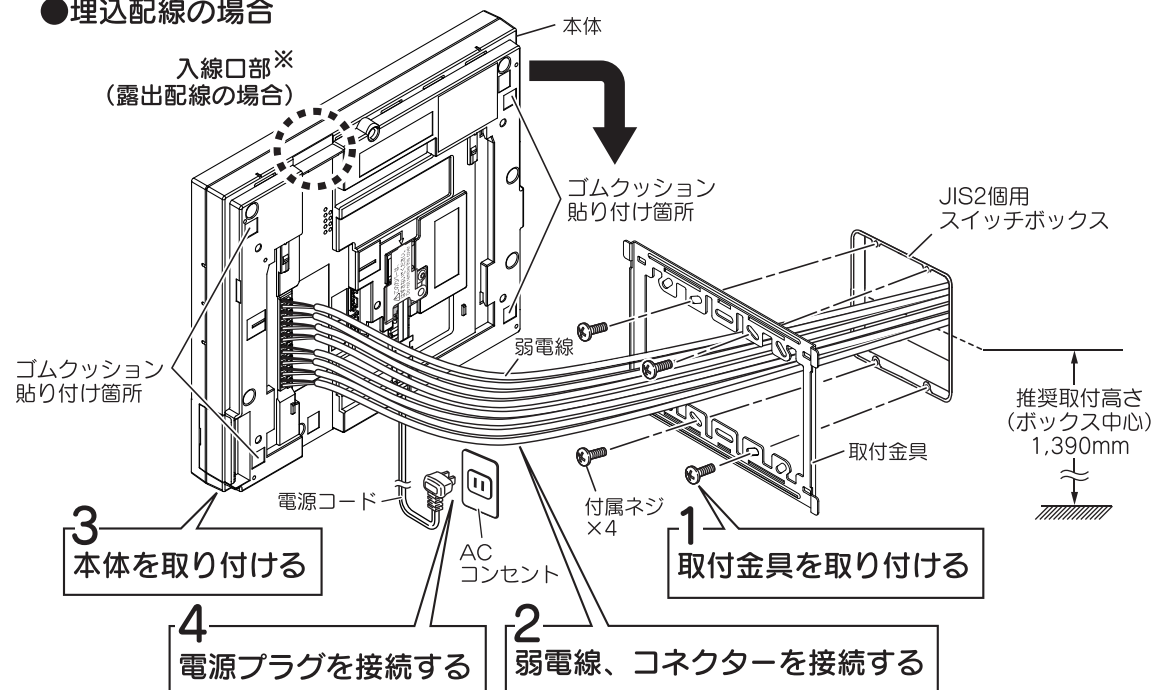
### ■モニター付親機



- 本体の上下左右に20cm以上の空きが必要です。(誤作動、通話の途切れ防止のため)
- モニター付親機を埋め込まないでください。
- 他の機器(床暖房リモコンなど)から本体を20cm以上離して設置してください。  
特に、給湯器用リモコン(インターホン機能付)からは本体を約40cm以上離して設置してください。(誤動作防止のため)
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(通話の途切れ防止のため)
- 電源スイッチが左側にあります。SDカード挿入口が右側にあります。操作できる場所に設置してください。
- 無線機器から本体を3m以上離して設置してください。
- 他世帯親機から本体を3m以上離して設置してください。

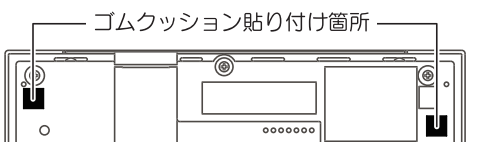


### ●埋込配線の場合



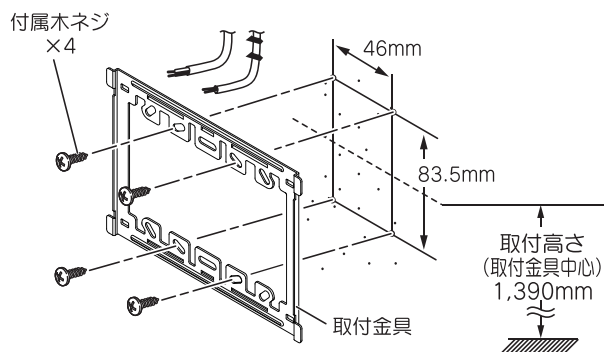
### ゴムクッションについて

モニター付親機と設置部の間にすき間ができる場合は、必要に応じて付属のゴムクッションを指定の箇所(4力所)に貼り付けてください。

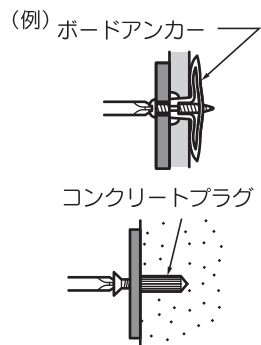


### ●露出配線の場合

※、必要に応じて入線口部を切り取ってください。(上図)



石膏ボードやコンクリート壁など付属のネジが使用できない場合は、ボードアンカーやコンクリートプラグ(市販品)などを使用してください。



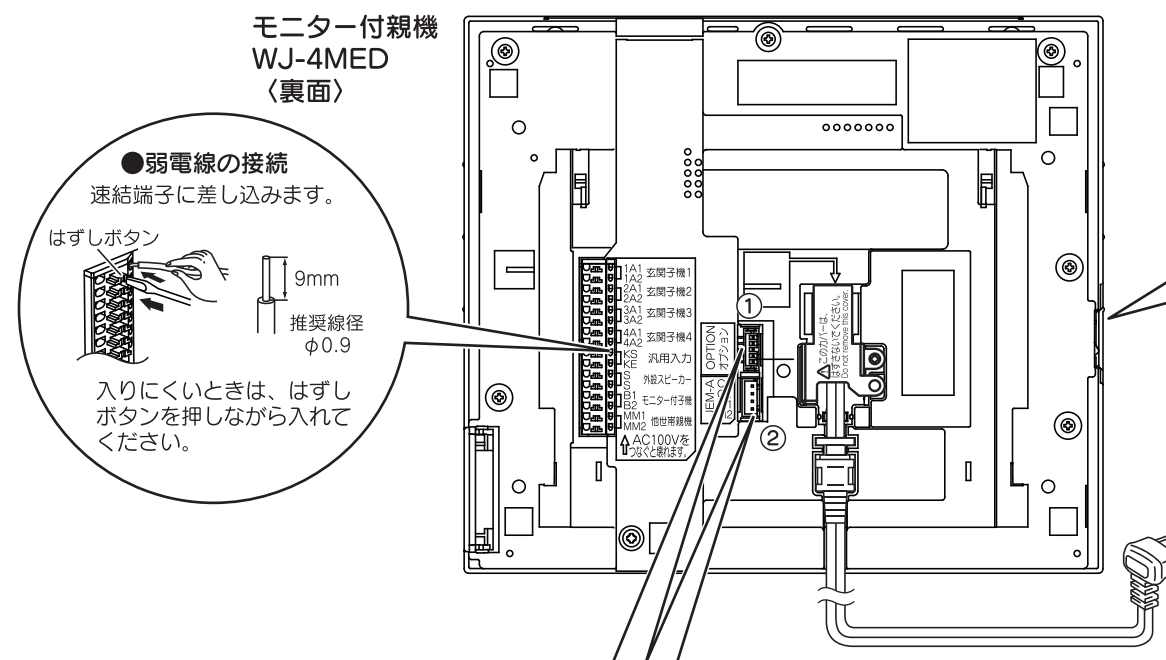
## 接続方法



接続される各機器の説明書をあわせてお読みください。



空き端子を他の目的に使用しないでください。

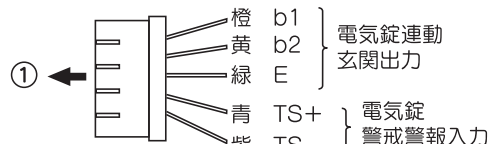


### 電気錠システムと接続するとき

- 電気錠システムの説明書をお読みください。
- 使用しない線は短絡防止のため、必ず根元から切って絶縁処理をしてください。

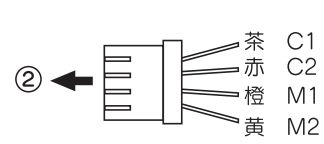
#### ① オプションコネクタ

※本機に付属しています。



#### ② 電気錠用コネクタ (JEM-A)

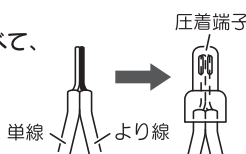
※電気錠コントローラに付属しています。



- 弱電線を接続する場合は、圧着スリーブ工法かハンダ付け工法で結線処理を行い、その後絶縁テープで覆い絶縁してください。

#### 〈圧着スリーブ工法〉

1. 単線とより線を並べて、圧着をする

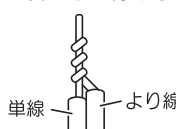


2. 半幅以上重ねて、2回以上巻き付ける



#### 〈ハンダ付け工法〉

1. より線を単線に3回以上巻き付ける



2. 先端を曲げた後、ひげのないようにハンダ付けをする



3. 半幅以上重ねて、2回以上巻き付ける



- コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。
- コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。

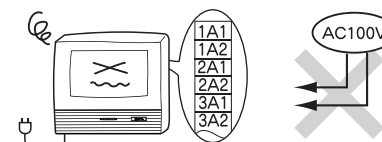
結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。特に配線の途中で弱電線接続する場合は、ハンダ付け処理か圧着スリーブ処理を行い、その後絶縁テープで絶縁してください。また、配線はできるだけ接続箇所を少なくしてください。

弱電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に弱電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。



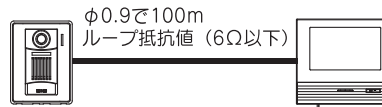
チャイム線などの既設の配線には、AC100Vが通電されている場合があります。電源線を速結端子に差し込まないでください。

接続を間違えると機器がこわれます。



速結端子に電源線をつなぐとこわれます。接続する前に、弱電線を確認してください。

既設の配線を使用する場合は、機器を取り付ける前にショートや断線がないことを確認してください。



断線チェック (6Ω以下)  
片方の端を結び反対側の端をテスターで測る

このループの抵抗を測る。



ショートチェック  
∞Ω (無限大)



こんなときは…

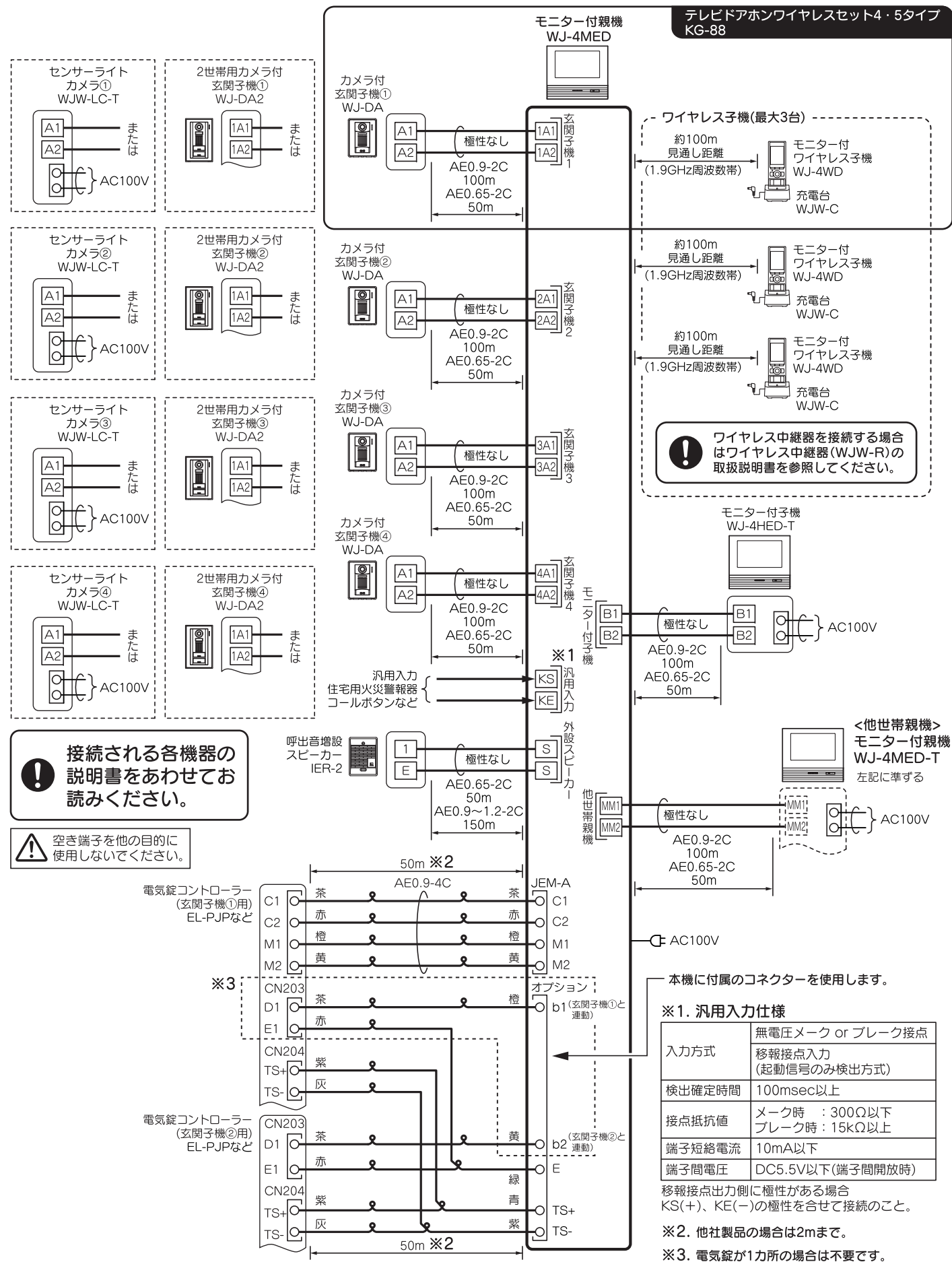


上記画面が表示されたり、ホームボタンが点滅するときは、玄関子機またはセンサーライトカメラの配線がショートしています。配線を確認してください。



## 接続方法

WJW-LC-T、WJ-4HED-T、WJ-4MED、EL-PJPなどのAC100Vの工事は電気工事士の資格が必要になります。無資格者による工事は機器の破損および感電の原因となりますので、電気店・電気工事店などの専門の方に依頼してください。



## 施工時の設定方法

2014年11月発行 FK2119 ㊞ P1114 OF 57047

本書で使用されている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

＜はじめに施工設定画面を開きます＞

1. 画面にタッチするまたは **ホーム** を押します。  
時計合わせ画面が表示されます。

2. **【確認】** をタッチし、ホーム画面の**【設定】** をタッチします。  
設定画面が表示されます。

3. **【その他の設定】** をタッチし、**【はい】** をタッチします。  
その他設定画面が表示されます。

4. **【▶】** をタッチし、  
次の画面(2/2)を表示させ、**【施工者設定】** をタッチします。  
メッセージが表示されます。

5. **【はい】** をタッチします。

**施工者設定画面 1/2が  
表示されます**



約1分間操作がないと液晶ディスプレイが  
消灯し、途中の操作は無効となります。



設定方法は  
次ページ

！ 接続される各機器にあわせて必ず設定してください。  
(設定しないと動作しません)

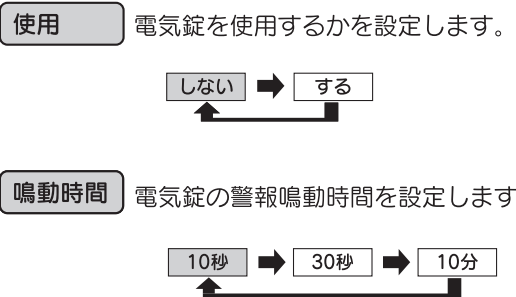
## 〈操作手順〉(例) 1 電気錠

1. 施工者設定画面1/2の[電気錠]をタッチします

2. [使用] または [鳴動時間] をタッチして変更します



タッチするごとに ➡ の順に内容が切り替わります



：出荷時設定

3. 設定が終わったら [決定] をタッチします

前の画面に戻るには [戻る] をタッチします。

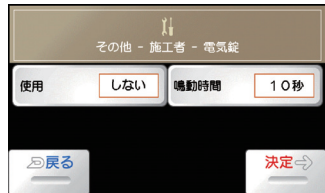
- ！
- 設定を変更する場合は必ず [決定] をタッチしてください。  
( [戻る] をタッチすると変更は反映されません。 )
  - 約1分間操作がないと液晶ディスプレイが消灯し、途中の操作は無効となります。

## 〈設定項目一覧〉

：出荷時設定

### 1 電気錠

親機に接続する電気錠の設定をします。



[使用] 電気錠を使用するかを設定します。

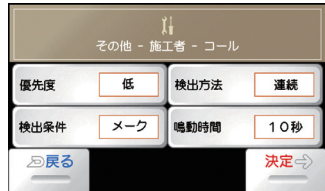
しない ➡ する

[鳴動時間] 電気錠警戒警報入力 (TS+, TS-) を接続した場合、本機で鳴動する電気錠警戒鳴動時間を設定します。

10秒 ➡ 30秒 ➡ 10分

### 2 コール

汎用入力に接続するコールボタンなどの設定をします。



[優先度] 発報したときの優先度を設定します。

◆ 高=警報として発報 (戸外発報あり)  
中=警報として発報 (戸外発報なし)  
低=コールとして発報 (通話中の場合、通話が優先される)

低 ➡ 中 ➡ 高

[検出方法] 機器に合わせて検出方法を設定します。  
[未使用]を選択した場合はコールの他の設定内容は表示されません。

未使用 ➡ ワンショット ➡ 連続

[検出条件] 機器に合わせてメーク・ブレイクを設定します。

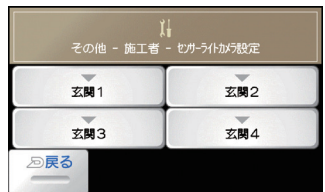
メーク ➡ ブレイク

[鳴動時間] 発報したときの鳴動時間を設定します。

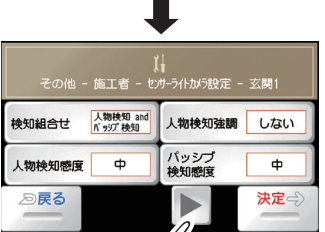
10秒 ➡ 30秒 ➡ 10分

### 3 センサーライトカメラ設定

接続するセンサーライトカメラの設定をします。  
センサーライトカメラの取扱説明書を必ず参照してください。



設定する端子名をタッチします。  
センサーライトカメラが接続されている端子名のみ表示されます。



タッチすると右画面へ

[検出組合せ] センサーの検知方式に関して人物検知とパッシブ検知 (遠赤外線を感知する)の組み合わせを設定します。

◆ センサーの誤検知が多い場合は人物検知 and パッシブ検知にしてください。センサーの未検知が多い場合は人物検知 or パッシブ検知にしてください。

人物検知 and パッシブ検知 ➡ 人物検知のみ ➡ パッシブ検知のみ ➡ 使用しない ➡ 人物検知 or パッシブ検知

[人物検知強調] 検知組み合わせで人物検知を選択した場合に設定します。  
人物検知している部分を□枠でカメラ画像に重ねて表示します。

しない ➡ する

[人物検知感度] 検知組み合わせで人物検知を選択した場合に設定します。  
人物検知の感度を設定します。

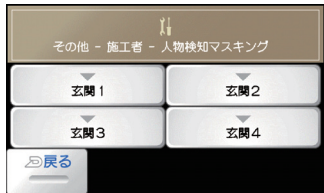
中 ➡ 高 ➡ 低

[パッシブ検知感度] 検知組み合わせでパッシブ検知を選択した場合に設定します。  
パッシブセンサーの感度を設定します。

中 ➡ 高 ➡ 低

### 4 人物検知マスキング

センサーライトカメラの取扱説明書を必ず参照してください。



センサーライトカメラの画像をマスキングすることで人物検知の範囲(エリア)を変更します。  
センサーライトカメラが接続されている端子名のみ表示されます。  
設定する端子名をタッチします。

マスキング範囲をタッチし、人物検知の有効/無効を切り替えます。  
➡【決定】にタッチで設定されます。  
ピンク色 = 人物検知が無効  
通常の画像 = 人物検知が有効  
8 (縦) x 8 (横) = 64分割

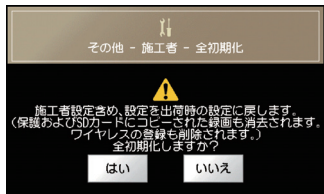
◆ マスキング機能とは画面をマスキングにし、人物検知を有効にする箇所と無効にする箇所を設定できる機能です。

### 5 ソフトウェアバージョン表示

親機、子機、ワイヤレス子機、玄関子機、センサーライトカメラのソフトウェアのバージョンを表示します。ワイヤレス子機は子機1～3、子機は子機4になります。  
接続されていない機器は「---」と表示されます。

### 6 全初期化

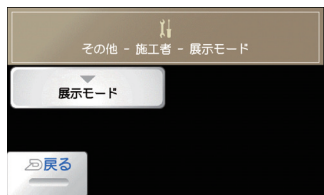
全ての設定を出荷時の状態にもどします。  
本体メモリーおよびSDカードに記録されている録画画像も全て消去されます。



➡ [はい] をタッチします。  
正常に作業が完了すると「全初期化が完了しました。」と表示されます。

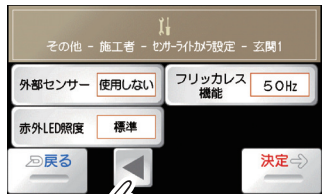
### 7 展示モード

通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用などに使用します。)



[展示モード] ハウリングを防ぐため、通話音声全てをミュートに設定します。  
[はい] をタッチで設定されます。

[通常モード] 展示モードの場合に表示されます。  
通常モードにもどします。  
[はい] をタッチで通常モードにもどります。



タッチすると左下画面へ

[外部センサー] 外部センサーをセンサーライトカメラに接続している場合に設定します。  
◆ and=両方が反応した場合に検知します。  
or=いずれかが反応した場合に検知します。  
使用しない ➡ センサーライトカメラ and 外部センサー ➡ センサーライトカメラ or 外部センサー

[フリッカレス機能] 設置する地域に合わせて設定します。  
◆ フリッカレス機能とは、50Hzの地域でも60Hzの地域でも蛍光灯の下で使用する際にきれいな映像を映し出すための切り替え機能です。  
50Hz ➡ 60Hz

[赤外線LED照度] 赤外線LEDの照度を設定します。  
◆ 親機に白黒で画面が映っている場合、赤外線LEDを使用しています。白すぎて見えない場合、暗めに設定してください。  
標準 ➡ 暗め

施工後は取扱説明書に従って動作確認をしてください。